

核兵器のない世界を願う

1 対象学年 小学6年生

2 ねらい

広島や長崎に原子爆弾が投下されてからまもなく70年を迎えようとしている。原爆投下以降、原子爆弾の脅威は世界中に知られていながらも、いまだに多数の核兵器を保有している国が存在している。

しかし、子どもたちは、これまでに核兵器について深く考える機会がなかったため、「原子爆弾は危険なもの」としか認識しておらず、原子爆弾による本当の苦しみや悲しみを知らないでいる。子どもたちには、原子爆弾の脅威を具体的に感じ取り、核兵器のない平和な世界を願う気持ちを育てたい。

そこで、「はだしのゲン」を視聴させ、原子爆弾による被害を知らせることで、原子爆弾の脅威について気付かせたい。また、世界では核兵器をなくそうとする取り組みがされている一方で、核兵器がいまだに数多く残っている現状を核保有国と核保有数を示す世界地図からつかませ、なぜ世界から核兵器がなくなるのかについて考えさせることで、核兵器のない世界を願う気持ちを育てたい。

3 指導の流れ

(1) 準備


- 原子爆弾の写真と等身大の絵
- 動画資料「はだしのゲン」
- ワークシート①②
- 資料「核保有国と核保有数を示す世界地図」(長崎市ホームページより抜粋)

【動画資料】 「はだしのゲン」 原作 中沢 啓治

- 1945年8月6日、原爆が投下された後の広島を舞台に、力強く生きるゲンを通して、原爆の恐ろしさについて訴える。本時では原爆投下寸前から、直後の街や人々の様子の場면을抜粋し、取り扱う。



(2) 指導計画

時間配分	学習活動	指導上の留意点
3分	<p>1 原子爆弾について考える。</p> <p>(1) 原子爆弾について知る。</p>  <p>【原子爆弾の写真】</p>	<ul style="list-style-type: none">○ 原子爆弾の写真を掲示した後、原子爆弾と同じ大きさの絵を掲示し、原子爆弾の大きさをつかませ、広範囲に大きな被害をもたらすものであることを知らせる。○ 原子爆弾を核兵器ともいい、その他にも水素爆弾や、ミサイル・魚雷の先に核爆発装置を付けた核弾頭なども含まれることを知らせる。○ 核兵器のなかでも原子爆弾は、放射線を放出するたいへん危険なものであることを知らせる。○ 動画「はだしのゲン」のパッケージを提示しながら、原子爆弾が広島や長崎に投下され

7分	<p>(2) 「はだしのゲン」を視聴する。</p> 	<p>たものであることを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「はだしのゲン」を見せ、広島に原子爆弾が落とされ、街が壊滅し、多くの人々が犠牲になったことを映像から気付かせる。 ○ 視聴後、広島ではおよそ20万人もの人が原子爆弾で亡くなったことや、今でも被爆者やその子でもが放射線による後遺症で苦しんでいることを知らせる。
3分	<p>(3) 原子爆弾について思ったことを発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原子爆弾の大きさや「はだしのゲン」を振り返り、原子爆弾について思ったことを自由に発表させ、原子爆弾の脅威に気付かせる。
	<p>2 世界の核兵器保有数について考える。</p>	
4分	<p>(1) 現在の核兵器保有国と核保有数について考える。</p>  <p>【資料「核保有国と核保有数を示す世界地図」】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2020年までに核兵器廃絶をめざした取り組みがされていることを知らせ、現在、世界にいくつぐらいの核兵器が存在しているのか予想させる。 ○ 資料「核保有国と核保有数を示す世界地図」を配付し、核保有国と核保有数に着目させることで、今でも多くの核兵器を保有している国があることをつかませ、核兵器をなくしてほしいという思いをもたせる。
9分	<p>(2) 核兵器がいまだに残っている理由について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2020年までに核兵器廃絶をめざした取り組みがされているにもかかわらず、核兵器がいまだに残っている理由についてグループで話し合い、グループの考えをワークシート①に記入させる。
5分	<p>(3) 核兵器がいまだに残っている理由をグループごとに発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシート①に記入した考えをもとに、各グループの代表者に考えを発表させる。
9分	<p>3 核保有国に伝えたいことを考える。</p> <p>(1) 核兵器をなくすために、核保有国に何を伝えたいかについて「だれに」「どうやって」「何を」に分けて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 核兵器をなくすために核保有国に何を伝えたいかについて自分の考えをワークシート②に記入させる。 ○ 伝える対象や方法を考えやすくするために、「だれに」や「どうやって」では、具体例を挙げ、選ばせる。
5分	<p>(2) 核兵器をなくすために、核保有国に何を伝えたいかについて発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数人の児童を指名し、自分の考えを発表させる。

4 実践のまとめ

【原子爆弾について考える場面】

はじめに、原子爆弾の写真を掲示した。その後、原子爆弾と同じ大きさの絵を掲示し、この原子爆弾が広範囲に大きな被害を及ぼしたことを知らせると、子どもたちからは、「こんなに小さいのに、すごい破壊力があるんだね」という驚きの声が上がった。

次に、原子爆弾を核兵器ということや、原子爆弾の他にも水素爆弾や、ミサイル・魚雷の先に核爆発装置を付けた核弾頭なども核兵器に含まれることを知らせた。そして、「核兵器のなかでも原子爆弾が体に一生悪影響を及ぼすものは何か知っていますか」と問いかけると、子どもたちから「原子爆弾は放射線が出て悪影響を及ぼす」といった発言があった。

その後、動画「はだしのゲン」の一部を視聴させた。被爆した人々や広島市の悲惨な様子が映し出されると、涙ぐむ子どもも見られた。視聴後、広島ではおよそ20万人の人が原子爆弾で亡くなったことや、今でも被爆者やその子が放射線による後遺症で苦しんでいることを知らせると、子どもたちからは、原子爆弾について次のような感想が出された。

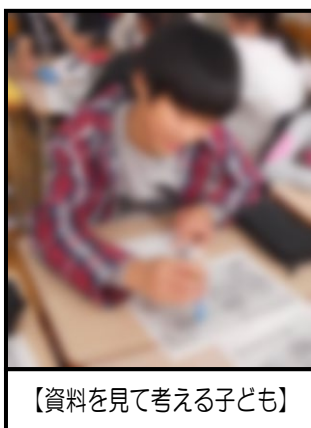


【原子爆弾と同じ大きさの絵】



動画「はだしのゲン」から、広島に原子爆弾が投下されたときの街や人々の悲惨な様子、原子爆弾の脅威に気付かせることができた。

【世界の核兵器保有国と核保有数について考える場面】



【資料を見て考える子ども】

原子爆弾についての感想の中での「世界には必要ない」という子どもの発言に着目させ、2020年までに核兵器廃絶をめざした取り組みがされていることを知らせた。「現在、世界にいくつぐらいの核兵器が存在しているのでしょうか」と問いかけると、「100個ぐらい」「世界の国の数と同じ」などと、子どもたちは世界に存在する核兵器の個数を予想していた。そこで、資料「核保有国と核保有数を示す世界地図」を配付し、核保有国と核保有数に着目させた。すると、子どもたちからは、「いろんな国が多くの核兵器をもっているんだね」「2020年までになくせるのかな」「こんなに恐ろしいものを早く世界からなくさないといけない」などといった発言があり、核兵器をなくしたいという思いをもたせることができた。

次に、再度、資料を用いて核保有国と核保有数に着目させ、「2020年までに核兵器廃絶をめざした取り組みがされているにもかかわらず、なぜ核兵器がいまだに残っているのでしょうか」と問いかけた。ここでは、その理由についてグループで話し合う活動を行った上で、ワークシート①にグループの考えを記入させ、グループの代表者に考えを発表させた。子どもたちの考えは以下の通りである。

核兵器を持っていることで自分の国が強いているから
 戦争が起きたときに核兵器が役に立つと思っているから
 他の国にやられたら、やり返すために持っている

自分の国を強くさせる。自分の国が核兵器をなくしても
 ほかに国が持っているから減らす勇気がない。

【子どもたちが考えた「原子爆弾がいまだに減らない」理由】

【核保有国に伝えたいことを考える場面】

核兵器がいまだに残っている理由をグループごとに発表した後、再度、「原子爆弾は多くの人と街を犠牲にする恐ろしいもので、世界に必要なもの」という子どもの発言を振り返らせた。そして、「そんな恐ろしい核兵器をなくすために、自分は何ができるでしょうか」と問いかけた。すると、子どもたちから「核兵器をなくしてほしいという気持ちを伝える」「原子爆弾で犠牲になった人の悲しい気持ちを核保有国に伝える」といった声が挙がった。

そこで、ワークシート②を配付し、核兵器をなくすために、核保有国に何を伝えたいかについて自分の考えを記入させた。その後、数人の児童を指名し、核兵器をなくすために、核保有国に何を伝えたいかについて、自分の考えを発表させた。子どもたちの考えは以下の通りである。

【A児】 だれに…大人	どうやって…テレビ	【B児】 だれに…子ども	どうやって…手紙
何を伝えたいか		何を伝えたいか	
<p>私たちの日本は原子爆弾が おとされてなん人もの人が死にいたるといけいけんをしています。原子爆弾をおとしたところではなん人もの人が死んでしまうだけで、なんにも意味がないです。なので、核兵器などいらないと思います。ほかの国がやったら、やり返さなま いけなから、という人もいます。でも、^(国)みんなが核兵器をなくせば、やり返すとか、ないと思うからです。</p>		<p>核兵器は世界に必要なということと平和はどういうことか ありせとほかにかを伝える。核兵器をもっている国は日本とどんなにつらい事か おきたかということとか、ほかに国の人だけでなく国内の人にも 昔戦争かおきたかということとか、ほかに国の人だけでなく国内の人にも</p>	

発表された考えの中には、伝える対象や伝える方法すべてに○を付ける子どもも多く見られ、子どもたちに核兵器のない世界を願う気持ちや世界中に伝えたいという思いをもたせることができた。

5 実践の成果と今後の課題

原子爆弾の大きさや威力、放射線による被害について知らせたことで、子どもたちは原子爆弾の脅威に気付くことができた。動画「はだしのゲン」を視聴させたことで、子どもたちは、原子爆弾が必要ないものであるとの考えがより強くなった。資料を用いて核保有国と核保有数に着目させたことで、子どもたちは多くの核兵器があることに気付き、核兵器をなくしたいという思いをもつことができた。そして、核兵器がいまだに残っている理由について考えさせたことで、子どもたちは核兵器をなくしたいという思いをより深めることができた。さらに、核兵器をなくすために、核保有国に何を伝えたいかについて考えさせたことで、核兵器のない平和な世界を願う気持ちをもたせることができた。

しかし、伝えたいことの中に、「核兵器をなくしてください」「戦争をやめましょう」などと簡略的な記述をした子どもが見られた。記述させる際に、原子爆弾の脅威や核保有国が核を保有する理由などをふまえて書くように声かけをする必要があったと考える。

今後は、本時で学んだことをもとに、世界中の核兵器をなくすための具体的な活動について考えさせる活動などを行って、核兵器のない平和な世界を願う子どもたちを育てていきたい。

ワークシート①【グループ】



班

☆ 世界中の核兵器の数が減らない理由を考えましょう。

ワークシート②【個人】

年 組 名前 ()

☆ 核兵器をなくすために、核保有国に何を伝えたいかについて考えましょう。

だれにとどうやっては、選んで○をつけましょう。

だれに

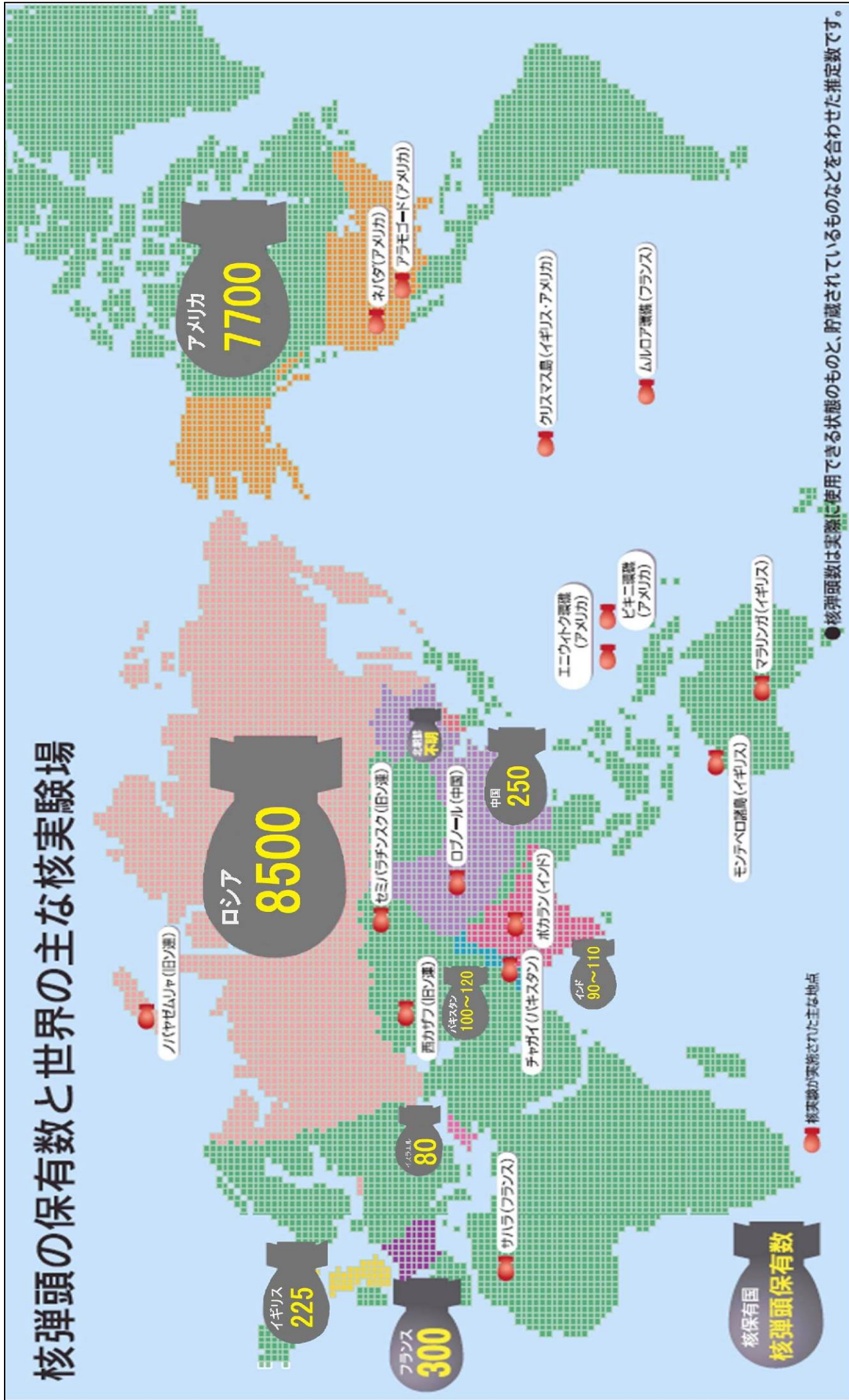
核兵器を保有する国の { 大人 ・ 子ども }

どうやって

{ 手紙 ・ ポスター ・ テレビ ・ ラジオ
インターネットの掲示板や動画 }

何を伝えたいか

核弾頭の保有数と世界の主な核実験場



●核弾頭数は実際に使用できる状態のもの、貯蔵されているものなどを合わせた推定数です。